

むつ市議会だより

編集 むつ市議会広報聴取委員会
発行 むつ市議会
青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎22-1111

—第225回定例会— 平成27年8月26日～9月18日

むつ市議会第225回定例会が、去る8月26日から9月18日までの24日間の会期で開かれました。今定例会では28議案・10報告・2議員提出議案が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定・承認・報告されました。「むつ市議会だより」では、定例会におけるそれぞれの議案の審議内容、議決の結果、一般質問の要旨、各常任委員会の活動等について、ご紹介します。

主な議案の説明

【議案第56号】むつ市手数料条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カードおよび個人番号カードの再交付に係る手数料を定めるためのもの

【議案第57号】むつ市営スキー場条例の一部を改正する条例

むつ市於法岳スキー場の用途を廃止するためのもの

【議案第58・60号】新たに生じた土地の確認について

大湊港エコ・コースト事業により、緑地として整備する公有水面埋立地・護岸用地として整備した公有水面埋立地を確認するためのもの

【議案第59・61号】新たに生じた土地の字名について

大湊港エコ・コースト事業により、緑地として整備する公有水面埋立地・護岸用地として整備した公有水面埋立地をむつ市大湊上町に編入するためのもの

【議案第62号】財産の減額譲渡について

株式会社永木精機に対して、市有地1169平方メートルを工事の施工に必要な土地の整備に要する経費を参酌し、価格を減じて譲渡するもの

【議案第63号】和解及び損害賠償の額を定めることについて

株式会社永木精機へ売却した市有地の軟弱地盤に起因する損害について、当該土地に知り得た瑕疵があったことから、和解し、損害賠償の額を定めるためのもの

【議案第65号】平成27年度むつ市一般会計補正予算

歳出については、下北半島と青森市を結ぶ離島航路の運航に係る補助金および廃棄物の撤去予定量の増加に伴う脇野沢不法投棄廃棄物撤去事業費を増額したほか、一般社団法人むつ下北医師会が指定管理者であるむつリハビリテーション病院において、平成26年度決算で確定した収益的収支に係る赤字額を補填するため、一部事務組合下北医療センターに対する負担金を増額したもので、歳入については、国・県支出金には歳出との関連において補助見込額を、財産収入には企業誘致に係る市有地売却収入および分取造林売払いに係る立木売却収入を、繰越金には前年度決算剰余金を計上したもので、補正額(増額補正)3億1738万8千円

【議案第76号】工事請負契約について(大畑町魚市場建設第1期工事に係る工事請負契約を締結するためのもの)

・契約の目的 大畑町魚市場建設第1期工事

・契約の方法 指名競争入札

・契約の金額 2億2194万円

・契約の相手方 杉山建設工業株式会社

【議案第77・78・79・80号】定住自立圏形成協定の締結について(大間町・東通村・風間浦村・佐井村)

定住自立圏の形成に当たり必要な事項等を定めるため、大間町・東通村・風間浦村・佐井村とそれぞれ定住自立圏形成協定を締結するもの



【報告第29・30・31号】専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

昨年11月27日に発生した自動車事故について、和解し、損害賠償の額を定めたもの

【報告第35号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成27年度むつ市一般会計補正予算)

「おおもり10市(とし)大祭典inむつ」関連事業の執行に急を要したため、関係予算を専決処分したもので、補正額(増額補正)984万8000円

※平成26年度一般会計歳入歳出決算および各会計決算については12・13ページをご覧ください。

議案に対し、通告のあった質疑とその答弁および討論等についてご紹介します。

今定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します。

Table with columns for '賛否の分かれた案件' (Cases with split votes), '議決結果' (Decision Result), '賛否' (Approval/Rejection), and a grid of 25 members' names with their respective votes (O for approval, ● for rejection).

全会一致で原案可決となった案件：8月26日採決
◆議案第53号 むつ市議会の議決すべき事件を定める条例

全会一致で原案可決・承認となった案件および報告のみの案件：9月10日採決
【採決・報告時不在1：村中徹也(議案第64号・第65号、報告第26号・第29号・第30号・第31号のみ)】

- ◆議案第64号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて
◆議案第65号 平成27年度むつ市一般会計補正予算
◆報告第26号 平成26年度むつ市一般会計継続費精算報告書
◆報告第29号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第30号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第31号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第32号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第33号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第34号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成27年度むつ市一般会計補正予算)
◆報告第35号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成27年度むつ市一般会計補正予算)

全会一致で原案可決・認定となった案件および報告のみの案件：9月18日採決
【採決時不在1：半田義秋(議案第78号・第79号・第80号のみ)】

- ◆議案第54号 むつ市工場立地法の規定に基づく準則を定める条例
◆議案第55号 むつ市個人情報保護条例の一部を改正する条例
◆議案第56号 むつ市手数料条例の一部を改正する条例
◆議案第57号 むつ市営スキー場条例の一部を改正する条例
◆議案第58号 新たに生じた土地の確認について
◆議案第59号 新たに生じた土地の字名について

- ◆議案第60号 新たに生じた土地の確認について
◆議案第61号 新たに生じた土地の字名について
◆議案第62号 財産の減額譲渡について(工場建設を計画する企業に対して市有地を減額譲渡するためのもの)
◆議案第63号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
◆議案第66号 平成27年度むつ市介護保険特別会計補正予算
◆議案第69号 平成26年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
◆議案第71号 平成26年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算
◆議案第72号 平成26年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算
◆議案第73号 平成26年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算
◆議案第76号 工事請負契約について(大畑町魚市場建設第1期工事に係る工事請負契約を締結するためのもの)
◆議案第77号 定住自立圏形成協定の締結について(大間町(大間町との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を定めるため、定住自立圏形成協定を締結するもの)
◆議案第78号 定住自立圏形成協定の締結について(東通村(東通村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を定めるため、定住自立圏形成協定を締結するもの)
◆議案第79号 定住自立圏形成協定の締結について(風間浦村(風間浦村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を定めるため、定住自立圏形成協定を締結するもの)
◆議案第80号 定住自立圏形成協定の締結について(佐井村(佐井村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を定めるため、定住自立圏形成協定を締結するもの)
◆報告第27号 平成26年度むつ市健全化判断比率について
◆報告第28号 平成26年度むつ市公営企業会計資金不足比率について
◇議員提出議案第4号 むつ市議会会議規則の一部を改正する規則
◇議員提出議案第5号 年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

※○は賛成、●は反対。議長(山本留義)は採決に加わらない。(全議員25名 採決対象議員数24名)

【議案第56号】むつ市手数料条例の一部を改正する条例
○質疑 カードを紛失した際の手続きはどうなるのか。
○答弁 通知カードを紛失した場合は、直ちに住所地の市町村長に紛失届を提出する。また、個人カードを紛失した場合は、直ちに24時間体制のコールセンターに連絡し一時停止の処置をとり、その後、住所地の市町村長に紛失届を提出する必要がある。

【議案第62号】財産の減額譲渡について(工場建設を計画する企業に対して市有地を減額譲渡するためのもの)
○質疑 工場の施工に必要な土地の整備に要する経費を減じて譲渡する理由は。
○答弁 平成5年の造成時から手つかずのまま現況は荒れた状態で、土地の一部は勾配斜面のため改良工事等の手直しが必要であることから、工場建設のために必要な土地の整備に要する経費を参酌する必要があると判断した。

【議案第63号】和解及び損害賠償の額を定めることについて
○質疑 当該土地に知り得た瑕疵があったとはどういふことなのか。
○答弁 市の誘致企業である株式会社永木精機が工場の建設に着手した後の平成27年5月25日に、同社から建設予定地内の一部に軟弱地盤箇所が存在し工場の建設に支障を来すため、軟弱地盤の改良工事を実施する必要があるとの報告があった。譲渡した土地の一部が「軟弱地盤である」ことについては、平成22年3月に用地造成

事業会計が廃止され一般会計に引き継いだ際にも明らかになっておらず、担当課でもそのような存在・事実を認識していなかったが、申し出後に関係資料を調査したところ昭和60年5月の調査報告書において土地の一部に軟弱地盤があることが判明した。本来、市の事務引継ぎが適切に行われていたなら、軟弱地盤対策をしっかりと講じた上で譲渡すべきものであったことから、追加で実施する軟弱地盤の改良工事経費相当額を同社に対して支払うものである。

【議案第65号】平成27年度むつ市一般会計補正予算
○質疑 離島航路運航維持事業費補助金について、県からの補助金が減額となっているのに市から会社への補助金が大幅に増額している理由は。また、利用者が増やす経営努力をしているようだが、航路の利用者数はどうなっているのか。
○答弁 離島航路補助については、国、むつ市、佐井村で欠損額全額を補填する仕組みで、今回は船舶定期検査に伴う修繕費が多額となったため市の負担が増額となった。県では市と村の支出額の2分の1または、船体維持費の2分の1のどちらか低い額を市、村に補助しており、欠損額の多寡にかかわらず県の支援はほぼ一定なのに対し、欠損額が増えれば市の支出も増えることになる。利用者数は平成24年度が1万2630人、25年度が1万2191人、26年度が1万3094人となっている。

【議案第77号】定住自立圏形成協定の締結について(大間町)
【報告第35号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成27年度むつ市一般会計補正予算)
○質疑 協定に掲げている事業で定住自立圏として新たに取組む事業は何か。
○答弁 新たな取組みとして、例えば在宅当番医制度がある。初期医療体制の充実のため休日・夜間の救急患者の治療にあたることを目的に、むつ下北医師会に委託しているが、圏域町村の住民の受診に広域的に取組むべき事業である。また、市町村職員の資質向上のための研修事業の企画、実施についても、地域をけん引する人材を確保し育成する観点から圏域内において取組む。

【報告第29号】専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
○質疑 職員に対する安全対策、安全指導および安全教育はどのように行われているのか。
○答弁 公用自動車の運転に際しては、機会あるごとに全職員に対し、交通安全に対する意識向上に関して注意喚起を促し、また、若手職員には、むつ地区安全運転管理者協会が主催する若手ドライバー交通安全研修を受講させ、新採用者研修でも交通安全意識の啓発を行っているが、毎年数件の公用自動車による事故が発生している。今後においても、管理職職員による職員への指導監督など、常に交通安全を意識し、安全運転に万全を期すよう注意を促すとともに、職員への安全講習等の充実を図り再発防止に努めていく。

【議員提出議案第4号】むつ市議会会議規則の一部を改正する規則
【議員提出議案第5号】年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

【議員提出議案第4号】むつ市議会会議規則の一部を改正する規則
【議員提出議案第5号】年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

○質疑 あおもり10市大祭典inむつに対する補正額984万8000円の内訳について。
○答弁 報償費として、田名部祭り、おしまこ流し踊り、大湊まつり、大湊ネプタに対する謝金377万円。需用費として市独自に準備する消耗品に20万円。委託料としてシャトルバス運行経費や駐車場警備に関する経費、田名部祭り5町の用具保管場所設営経費等587万8000円を計上し、全額を青森県市町村振興協会から交付されることになっている。サマージャンボ宝くじ収益金市町村交付金の活用を見越した措置としている。

【議員提出議案第4号】むつ市議会会議規則の一部を改正する規則
【議員提出議案第5号】年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

【議員提出議案第4号】むつ市議会会議規則の一部を改正する規則
【議員提出議案第5号】年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

平成26年度 むつ市一般会計歳入歳出決算ほか、各会計決算議案を可決・認定



決算審査特別委員会 佐々木 隆徳 委員長

平成26年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の各決算等は、議長および議会選出の監査委員を除く全議員で構成された決算審査特別委員会（委員長：佐々木隆徳議員・副委員長：菊池光弘議員）で審査されました。このページでは、決算審査特別委員会での質疑内容等について、その一部をご紹介します。

決算審査特別委員会の審査結果は、一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、下水道事業特別会計歳入歳出決算、水道事業会計利益剰余金の処分についておよび水道事業会計決算については、それぞれ委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で可決・認定すべきものと決定し、ほかの特別会計決算については、全会一致で認定すべきものと決定いたしました。

★一般会計

歳入額	歳出額	歳入歳出差引
331億6591万5839円	326億114万3935円	5億6477万1904円

※繰越明許費および事故繰越し繰越額を差し引いた実質収支(黒字)額は、2億3920万8561円

★むつ市健全化判断比率

実質公債費比率	将来負担比率
17.3 (25.0) %	198.3 (350.0) %

※()内の数字はむつ市の早期健全化基準を示す

主な質疑と答弁(一般会計)

★庁舎管理費(ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物処理業務委託)

○質疑 PCBは過去のものと思っていたが、平成26年度の処理となった経緯は。

○答弁 平成22年度の旧庁舎の解体によりPCB廃棄物を含む蛍光灯の安定器が153個、重量で499キログラム発見され、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の規定に基づき平成26年度に処理したものである。処理年度は県の処理計画において当市に割り当てられたのが26年度であったことから本会計年度での処理となったものである。

★就労自立給付金

○質疑 給付金の詳細について。

○答弁 生活保護法において平成26年7月から新たに始まった制度で、生活保護をやめた後の不安定な生活を支えることを目的としたものである。今年度の支出は3名で、生活保護をやる前6か月の稼働収入に応じて算出した31万円余を給付したものである。

★墓地公園管理費

○質疑 墓地公園の残区画が167と少なくなっているが、今後増やす計画などはあるのか。

○答弁 墓地公園は3000区画の計画でスタートし、現在までの整備区画が1877区画でその残が167区画となっている。今後の需要に基づき年次計画で整備していく方針である。

主な質疑と答弁(特別会計等)

★国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 平成25年度と26年度の国保税の歳入の差額が2000万円ほどしか増えていないが、平成26年度の国保税値上げによる影響額はどれくらいあったのか。

○答弁 税率改正に伴う保険税の影響額であるが、平成25年度の歳入決算で、1人当たりの金額が8万9779円。それに対し平成26年度は9万5453円で1人当たり5674円の増となる。これを平成26年度の被保険者数とかけ合わせると1億124万円の増となるが、国保税の差額が増えていないのは、被保険者数の減少によるものが大きいと捉えている。

★介護保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 家族介護慰労金事業の事業内容と対象者は。

○答弁 家族介護慰労金事業の対象者は、要介護4・5と認定され、過去1年間に介護保険サービスを受けていない方を介護している家族に対し慰労金を支給する事業で、平成26年度に受給された方は3人となっている。

★勤労青少年ホーム運営費

○質疑 利用者数と利用の内訳は。また老朽化が著しい施設だが将来的な展望は。

○答弁 平成26年度の年間利用者数は7427人で、バトミントン、バスケットボール等のスポーツ系と社交ダンスや華道教室等の文化的なサークルの利用が多くなっている。施設は確かに老朽化しているが、修繕を繰り返しながら多くの方に利用いただいており、将来的に施設の統廃合を検討するとしても代替施設が必要となることから、使える限りは利用していきたいと考えている。

★鳥獣害総合対策事業費

○質疑 サルの捕獲および処分の状況について。

○答弁 下北半島二ホンザル対策評価科学委員会の農業被害および生活被害レベルに応じ、群捕獲、個体数調整のため、平成26年度は263頭の捕獲を県・国へ申請した。捕獲についてはむやみに捕獲するのではなく、悪さをしたサルをというので、今年度は67頭を捕獲した。捕獲後は、二ホンザル処分施設等で処分し、全て大学へ検体として提供している。

★大畑町沿岸漁業振興対策事業補助金

○質疑 さけ・ますふ化場施設整備事業の進捗状況は。

○答弁 ボーリング調査を実施したが結果が思わしくなく、場所の選定から再度やり直す予定で現在は中断している状況である。今後、漁業協同組合と協議し早めに進めていきたいと考えている。

鉄道用地として使用していた際に用地内に存在したコンクリート製の工作物等は民間会社所有の財産となることから、公共用地の補償基準に基づき、移転補償および物件補償を行ったもの。

★介護保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 家族介護慰労金事業の事業内容と対象者は。

○答弁 家族介護慰労金事業の対象者は、要介護4・5と認定され、過去1年間に介護保険サービスを受けていない方を介護している家族に対し慰労金を支給する事業で、平成26年度に受給された方は3人となっている。

「むつ市議会基本条例」の検証を行いました

平成25年6月の「むつ市議会基本条例」制定以来、市民に信頼され活動力と創造力のある議会を築くため、本条例の実践に向け全議員で取り組んできたところでありますが、条例第18条に掲げた本条例の目的が達成されているかの検証について、議会基本条例検討委員会を中心として協議を行い、その検証結果をホームページに公表いたしましたので、ぜひご覧ください。

【むつ市議会ホームページ】

<http://www.city.mutsu.lg.jp> のバナーからアクセスしてください

※評価の方法について、このたびは初めての試みでもあり、議会の内部評価といたしましたことをご理解願います。

○質疑 債務負担行為に1億円を繰り出し

★義務教育振興費
○質疑 青森県学習状況調査の県とむつ市との通過率の差で、小学校5年生は県平均より低いが中学校2年生は上がっているのをどう分析しているのか。

○答弁 年度によって差異も生じているが、市単独で行なっている学習状況調査のほか、県および国で行なっている学習状況調査の数年分のデータを分析して市内の児童生徒の動向を把握したいと考えている。

同じ年度でも全国の学習状況調査において、小学校、中学校ともにほとんどの教科において国の平均を超えており、決して不安を抱く状況ではないと認識している。

★下北医療センター負担金
○質疑 債務負担行為に1億円を繰り出し

した経緯と今後も毎年繰り出しを続ける予定なのか。

○答弁 これまでは川内・大畑・脇野沢の診療所の不良債務の解消のための繰り出しであったが、平成26年度からむつ総合病院への繰り出しを開始した。今後の繰り出しについては大畑診療所の不良債務も残っていることから、今後の予算編成において一般財源の状況を見極めながら計画的に返済していきたいと考えている。

★歳入について

○質疑 地方交付税が前年度より3億円以上減額となった理由は。

○答弁 基準財政需要額の算定基準の引き下げにより約1.6億円の減、また、地方消費税交付金や市の固定資産税の課税額が増えたことにより基準財政収入額が2.1億円の増となったことにより普通交付税が3.7億円と大幅な減となったものである。

○質疑 たばこ税の減収の理由は。また、むつ市に本店のないコンビニやパチンコ店のたばこ税はどこに入るような仕組みになっているのか。

○答弁 たばこ税については前年度比3880万円の減収となったが、人口減少や健康志向の高まりによる喫煙者の減少、消費税増税によるたばこの価格引き上げによるものと捉えている。

たばこ税は、たばこの製造業者および卸売販売業者が小売販売業者に売り渡す際にその本数に応じ課税されるもので、小売販売業者の所在する市町村に入るものである。したがってパチンコ店等で市外にある本店が一括購入し、市内のチェーン店に配送され消費された場合は当市の課税対象とはならない。

★公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算
○質疑 補償補てんおよび賠償金について具体的に説明願いたい。

○答弁 用地を購入するにあたり、用地内に存在する木造建物である旧駅舎等や、

富岡 幸夫 議員



- 質問 基地のあるまちの首長として、安全保障関連法案についての所見は。
- 答弁 国の専管事項に係る問題で、一団体の長として答弁はふさわしくない。
- 質問 安倍総理の戦後70年談話についての所見は。
- 答弁 戦後の節目に出される談話が多くなる国民に議論されることは平和な日本を築くためにも意義のあるものだと認識している。
- 質問 近現代史について、小・中学校における歴史教育の現況並びに次期学習指導要領の改訂点と本市の目指す教育は。
- 答弁 現行の学習時間も25時間増加している。次期学習指導要領でも趣旨の周知徹底を図り、社会の発展に貢献する意欲を高めていく。

※上記のほか「環境行政について」の質問がありました。

工藤 孝夫 議員



- 質問 政治姿勢について(1)自衛隊のある長として憲法遵守と「安全保障関連法案」の所見について。市民である自衛隊員家族の生命、安全を守る立場から、この法案に反対すべきだ。市長の認識はどうか。憲法との関係から、この法案をどのように認識しているか。
- 答弁 法案の賛否につきましては、地方自治体の事務の範疇ではないと判断されるところであり、市議会的一般質問への答弁はふさわしくないと考えるので差し控える。認識についても、現在、国会において審議されているので、議論の行方を注視する。
- 質問 医師確保対策の取り組みと展望は。
- 答弁 医学部進学コース設置を含めた項目を付け加え要望活動を行なった。

鎌田 ちよ子 議員



- 質問 マイナンバー制度における個人情報のセキュリティ対策について市独自の対策は。
- 答弁 市独自の対応として、個人情報を取り扱うシステムはインターネットを介し不特定の外部とつながることができない仕組みになっている。システムやサーバー等の情報を整理する端末に対する外部からの攻撃を防ぐファイヤーウォールやウイルス対策ソフトを整備している。
- 質問 地域包括ケアセンター等の名称をわかりやすいネーミングに変えては。
- 答弁 国が定めた地域包括支援センターという名称も地域に浸透してきていると感じているが、なじみやすい名称にという動きがあることは承知しており、今後研究していく。

※上記のほか「環境行政について」の質問がありました。

佐賀 英生 議員



- 質問 一次産業従事者確保および一次産業拡大についてどのような考え方をしているか。
- 答弁 国の補助事業「ふるさと名物応援事業」の採択を受けたので、ジェイアール東日本企画(東京)と協力し、市の名産品であるイカを使った加工品を首都圏ショップで検証のために販売したり、スーパーや観光業界の展示会などでPRするなどして、イカ加工品を手がける地元中小企業の活性化を目指す。
- 質問 水難事故防止のため海水浴場の潮流を調査し公表してはどうか。
- 答弁 関係者の話しなどを聞いて、各海水浴場の潮流等を必要に応じて水難事故防止のために施していきたい。

斉藤 孝昭 議員



- 質問 公会計制度の見直し、複式簿記・発生主義会計の導入や基準の設定と情報公開などに取り組む考えはないか。
- 答弁 単式簿記では見えにくい資産、負債といったストック情報の把握が可能となることから、行政内部のマネジメント向上にもつながるため平成28年度を目途に検討する。
- 質問 中・長期的な財政再建ビジョンの策定をすべき。
- 答弁 時代に即した真に必要な事務事業の見極めに取り組みながら、最終的には財政再建ビジョンの策定も視野に入れながら全庁一丸となって取り組む。

東 健而 議員



- 質問 公職選挙法の改正で18歳から選挙権を付与することが決まった。選挙管理委員会委員長の認識について。
- 答弁 学校教育から切れ目のない政治に参画することになり、若年層の投票率アップにつながるものと認識している。
- 質問 新規の被選挙権者への啓発活動について。
- 答弁 パンフレットの配布や模擬投票を実施し、小・中学校での選挙出前講座を実施するとともに、国や県の啓発活動の動向を注視していきたい。
- 質問 新規有権者数について。
- 答弁 1037人で全市の全有権者数の約2%となり、全国のおよそ2%と同程度となる。
- 質問 選挙違反について
- 答弁 県の選挙管理委員会や学校教育と連携を図り、公開講座や出前講座を通じて啓発に努める。

※上記のほか「松川漁港の施設整備計画について」の質問がありました。

第2回むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会(5月28日・6月1日開催)でいただいた意見や要望に対する回答の一部を紹介します

議会活動に関する情報公開を徹底し市民の意見を議会活動に反映させることを目的として開催しております「議会報告会及び市民との意見交換会」では、市民の皆様からいただいたご意見・ご提言については、その意見等の内容により、各常任委員会等に振り分けて調査・研究等を行い、今後のむつ市議会の議会運営に反映させむつ市の未来のための政策提言としていけるよう協議しております。今回は意見交換会でいただいた意見や要望に対する回答の一部を紹介いたします。なお、両日いただいた意見・要望に対する回答は、ホームページで公開しておりますのでご覧ください。

○市民からの意見

全国的に抑えている箱物が、むつ市は多いのではないかと思います。

○回答(総務教育常任委員会)

担当課に確認したところ、公共施設の多寡は、市町村合併の有無、重点的に推進すべき政策および財政状況等の違いから、一概に他の地方公共団体と比較することはできないとのことですが、合併以降、旧市町村ごとに整備してきた類似の公共施設が存在していることは事実であるとのことでありました。

市では現在、平成28年度の完成を目指し「公共施設等総合管理計画」の策定作業中であり、議会としても施設の必要性や地域の特性等を考慮し、議論していきたいと思っています。

○市民からの質問

国道338号線宇智工区の状況はどうなっているのか。

○回答(産業建設常任委員会)

国道338号大湊II期バイパスは平成20年度から県が事業に着手し、平成26年度末の進捗率は、事業費ベースで約30%、用地取得率は、1工区で8%、2工区で32%となっており、今年度は、事業費1億3000万円で主に用地取得の促進を図るとのことですが、市としては今後も県に対し一日も早い全線開通を要望していくと聞いています。

○市民からの要望

除雪と排雪の費用対策、融雪溝を造って排雪した場合の検証を行い提示してほしい。

○回答(産業建設常任委員会)

融雪溝の整備については、多大な時間と多額の費用を要するも

のであり、また、堆積場として利用できる空き地が少ないため、頻りに排雪しなければならないことが、除排雪費用の増大につながっているとのこと。堆積場の確保と併せ融雪溝整備の両面から、除排雪費用の削減に向けて検討していきたいと聞いております。

○市民からの意見

資源ごみの集団回収はむつ地区ではやっているが、ほかの地区はやっていない。もっと広報して実施団体を募集すべき。

○回答(民生福祉常任委員会)

資源ごみの集団回収については、ごみ収集カレンダー、市のホームページ等で広報し、随時、受付はしています。町内会等の回収希望団体と回収業者の条件が合えば実施することができますが、回収量の減少、回収場所の除雪、管理者の確保など課題が多く、むつ地区の回収団体も減少傾向にあるとのことでありました。

○市民からの意見

市民の方の参加が少ない。町内会にお願いするとかして幅広く集める工夫をしたほうが良いのではないかと。また、昨年の意見・要望に対して回答が出ているが、市民にフィードバックされているのはあるのか。

○回答(広報広聴委員会)

今回はまだ2回目の開催ということもあり、町内会等に依頼する形はとりませんでした。今回の結果を受け、広報のあり方も含め、参加者を増やす方法を検討してまいります。

また、前回いただきました意見・要望に対しては、聞くだけの一方通行ではなく、一般質問で取り上げ議論したり各常任委員会で協議することなどにより、少しでも市民にフィードバックしていけるものと考えております。

濱田 栄子 議員



- 質問 むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について(1)漁獲量の多い主産業であるイカ・サケの新たな商品開発等が示されていないのはなぜか。
- 答弁 地域産業の競争力強化事業の中で包括的に取り組む。
- 質問 (2)ジオパーク認定に向けた動きについて。
- 答弁 小・中学校などで出前講座をやってきた。ガイドブックは今年中に作成する。民間の活動も増えている。
- 質問 (3)子育て支援の取り組みについて。
- 答弁 中学生までの入院医療費の無料化もやっている。夢を育む事業も行っていく。
- 質問 恐山から関根橋地域の正津川林道整備状況は。
- 答弁 平成27年11月工事完了予定で来年4月より開通予定。

岡崎 健吾 議員



- 質問 学校図書館について。
- 答弁 むつ市の小・中学生は読書習慣が定着してきている。引き続き学校図書館の整備、充実にも努める。
- 質問 ICT機器の配備状況について。
- 答弁 むつ市の子供たちの益々の向上のため、必要とされるICT機器の配備を検討する。
- 質問 平成27年度の全国学力状況調査のむつ市の結果について。
- 答弁 小・中学校ほぼすべての教科で、正答率が全国平均を上回っている。
- 質問 避難道路としての(仮称)下北・津軽半島大橋の建設について。
- 答弁 将来にわたり継続して研究をすべき事案と考えている。

※上記のほか「市役所職員の勤務体制について」の質問がありました。

浅利 竹二郎 議員



- 質問 旧合併町村から引き継いだ公共施設等の統廃合について。
- 答弁 今年度から施設経営室を新設、平成28年度完成を目指し公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいる。
- 質問 市民要望の強い(仮称)むつ市立総合体育館新設経費等について。
- 答弁 財源の見通しとの調整を大前提としているが、東京オリンピックの開催前、または、青森県民体育大会が下北地域で開催される時期を目途に完成させたい。

※上記のほか「下北医療センターおよび下北地域広域行政事務組合に係る負担金等について」、「市道浜通線の道路整備経費について」、「むつ市人口ビジョン(素案)について」の質問がありました。

菊池 光弘 議員



- 質問 カーブミラーの設置の要件数と年間設置数は。
- 答弁 過去3年間の要望は、平成24年度22件、25年度11件、26年度6件で、平成26年度末の要望繰り越しは27件。新規の設置数は平成24年度6件、25年度5件、26年度は5件となっている。
- 質問 サル被害の現状と対策は。
- 答弁 サルの個体数が年々増大し、農作物被害が遊動域内の農地で発生、また、人家侵入などの生活環境被害も発生。このような状況を受け市では、平成27年5月29日に施行された第一次第二種特定鳥獣管理計画に基づき、今後は新型の電気柵の設置など、対策の強化を図っていきたい。

※上記のほか「障害者支援対策(1)現在の障害者数(2)障害者を抱える家庭のケアについて」の質問がありました。

横垣 成年 議員



- 質問 ゴミ収集場所の現状を聞く。ゴミ小屋設置に対し、環境、悪臭、町的美観の観点から、むつ市はもっと責任を持って対処せよ。
- 答弁 ゴミ集積場は1588か所。網をかぶせる形の集積場は、旧むつ地区106か所、川内地区9か所。本町、田名部町、小川町、横迎町、柳町、大湊駅前が多い。網をかぶせる形の集積場は直ちに改善に向かう状況にない。市としても可能な限りこのような集積場の減少が望ましいと考えている。集積場を利用する住民の方々と話し合っ町内会を通じて市へ要望・相談があった場合には協議・協力していく。

※上記のほか「スポーツ施設について」、「財政について」の質問がありました。

各常任委員会での審査内容や委員会の活動についてご紹介します。

【総務教育常任委員会】 ○9月10日付託議案審査

総務教育常任委員会に付託された9議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、9議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主たる質疑)

・議案第77号 定住自立圏形成協定の締結について(大間町)

Q 4町村全部ではなく、一部の町村と連携することとなる事業はあるのか。

A ニホンザル被害対策事業、デジタルデバイスとの解消に向けた情報ネットワーク管理運営事業や医師派遣事業などがある。

Q 今回の協定締結までの進め方は。

A 国で定められている「定住自立圏構想推進要綱」に則って進めており、今後も議会や市民のご意見を伺いながら進めていきたい。

・議案第80号 定住自立圏形成協定の締結について(佐井村)

Q 協定内容の生活機能の強化に係る政策分野の診療体制の充実の中に医師の派遣を行うという事項があるが、実際に可能なのか。

A 現在、一部事務組合下北医療センターより歯科医師の派遣を行っている。

Q 歯科医師だけではなく内科医師などの派遣はできないのか。

A 医師確保については、今後、人材を育てるといった意味においても努力していきたい。

【その他の活動】

○所管事務調査

- ・希望のまちづくり補助金の審査委員について
- ・公共施設について
- ・「広報むつ」の表記について
- ・再生可能エネルギーについて
- ・空き家の利用について

【産業建設常任委員会】 ○9月10日付託議案審査

産業建設常任委員会に付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、4議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主たる質疑)

・議案第62号 財産の減額譲渡について

Q 企業が新たに土地を購入するに至った経緯について。

A 現在、5区画を先行取得して工場を建設しているが、将来的な工場の拡張等を見越して隣接する市有地も購入したい旨の申し出があり、今回の提案に至ったもの。

・議案第63号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

Q 過去に売却した土地については軟弱地盤の影響はないのか、また、今後売却しようとする土地に関して影響はないのか。

A この周辺にはまだ建物等が建っていないことから、周辺の土地の状況は把握していない、また、今後売却する際には今回このような事象が発生したことを考慮して事業を進めていきたい。

【その他の活動】

○所管事務調査

- ・大湊上町の市道整備について
- ・融雪溝について・除排雪について
- ・各種工事後の道路復旧について
- ・市営住宅について
- ・クルーズ客船誘致による経済波及効果について
- ・安渡館の利活用について
- ・川内地区の熊野川に堆積した土砂の除去について
- ・「水産加工センターわきのさわ」について
- ・(仮称)田名部まちなか団地建設用地取得に係る附帯決議後の状況について

【民生福祉常任委員会】 ○9月10日付託議案審査

民生福祉常任委員会に付託された3議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、3議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主たる質疑)

・議案第56号 むつ市手数料条例の一部を改正する条例

Q 再交付に係る手数料は全国一律なのか。

A 原価相当分として国から通知カードは500円、個人番号カードは800円という基準額が示されているので、ほとんどの自治体はこの金額で設定しているものと考えている。

・議案第57号 むつ市営スキー場の一部を改正する条例

Q 於法岳スキー場廃止についての住民説明会で市民からどのような意見が出されたのか。

A 「拙速ではないのか」、「周知方法を工夫し利用促進を図るべきではないか」との意見もあったが、最終的には廃止することに一定の理解をいただいたものと考えている。

Q スキー場廃止後の跡地利用の計画はあるのか。

A 現在のところ利用計画は定めていないが、今後検討していきたい。

※なお、今後、公共施設の統廃合について検討していく際には、市民が納得できるように懇切丁寧な説明を心がけていきたいと要望した。

【その他の活動】

○所管事務調査

- ・アクセス・グリーンへ自己搬入するごみの基準等について
- ・資源ごみの集団回収について

編集後記

平成25年6月の「むつ市議会基本条例」制定により広報広聴委員会が設置されました。市民の皆様の意見や要望を議会に反映するために「議会報告会及び市民との意見交換会」は2回開催(16会場)しました。意見交換会のご意見やご提案は担当の常任委員会等で調査、行政側とも協議し、また一般質問等で取り上げるなど、実現に向け取り組んでおります。また、市民の皆様が開かれた議会を目指しリニューアルした議会だよりも3回目の発行となり、議会活動への理解が深まってきたことを願っております。

急激な少子高齢化による人口減少、地球温暖化による異常気象、目まぐるしく変わる世界情勢など、私たちを取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。そんな中においても、市民のみならず一人一人が幸せを感じることができむつ市を願って、今期最後の議会だより発行とさせていただきます。

ご意見・ご感想はこちらまで

むつ市議会広報広聴委員会(議会事務局内)
〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎0175-22-1111

【広報広聴委員会 委員名簿】

◎委員長 中村 正志 ○副委員長 上路 徳昭
目時 睦男、佐賀 英生、濱田 栄子
富岡 修、菊池 光弘、岡崎 健吾

【むつ市議会ホームページ】

http://www.city.mutsu.lg.jp
のバナーからアクセスしてください。

※議会だよりでお知らせした内容の詳細については、今後ホームページ等で公表される会議録をご覧ください。